

# 東京まなびすぽっと

## 日本科学未来館 (MeSciミーサイ)

—最先端の科学技術と人々をつなぐ、  
新しいスタイルのサイエンス・ミュージアム—

「新交通ゆりかもめ」の「船の科学館駅」または「テレコムセンター駅」から歩いて5分。国際研究交流大学村にあるガラス張りの透明な建物が「日本科学未来館」です。

エントランスを入って、まず目に入るのが1階から6階までの吹き抜け空間に浮かぶ直径6.5メートルの球体。この球体ディスプレイ装置「Geo-Cosmos」には、発光ダイオード約100万個が張り込まれており、宇宙から見た今の地球を刻々と映し出しています。館長毛利衛さん(宇宙飛行士)の想いから生まれた未来館のシンボル展示です。

館内は、「地球環境とフロンティア」「生命の科学と人間」「技術革新と未来」「情報科学技術と社会」の4つの展示ゾーンに分かれています。展示物の内容はユニークで、「見る」だけでなく、「体験」やインタープリター(展示解説員)との「会話」を通して理解を深めることが特徴。謎の素粒子、ニュートリノを調べる施設「スーパーカミオカンデ」の一部も展示しています。展示スペースの奥にある「研究開発ゾーン」では、研究者のプロジェクトチームが常駐し、最先端の研究開発を行っており、来館者の見学ツアーもあります。



写真提供:日本科学未来館

ボランティアは、未来館を支える大きな柱です。高校生からシニアまで、610名のボランティアが展示解説や実験工房での実験補助で大活躍(平成14年12月現在)。来館者と同じ目線で科学技術に触れ、驚きや発見を分かち合っています。

日本科学未来館は、科学技術を文化として捉え、私たちの社会



写真提供:日本科学未来館

に対する役割と未来の可能性について考え、語り合うために、来館者、インタープリター(展示解説員)、研究者、ボランティアといったすべての人に開かれています。

### 【利用案内】

**開館時間** 日～金曜日:10:00～17:00(入館は閉館30分前まで)  
土曜日:10:00～18:00(入館は閉館30分前まで)

**休館日** 毎週火曜日  
(但し、祝日、春休み、GW、夏休み、冬休み期間は開館)  
年末年始[12/28～1/1]

**入館料** 大人 500円 18才以下 200円  
団体(8名以上)大人400円、18才以下160円  
(毎週土曜日のみ18才以下は無料)

**駐車場** 車175台 [1時間300円]  
バス9台収容 [来館中1,000円、事前予約制]

### 【交通アクセス】

- ・新交通ゆりかもめ(新橋駅～有明駅)「船の科学館駅」下車、徒歩約5分 「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分
- ・東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

### 日本科学未来館

〒135-0064 東京都江東区青海2丁目41番地  
Tel. 03-3570-9151 Fax. 03-3570-9150  
《団体受付》Tel. 03-3570-9188  
URL <http://www.miraikan.jst.go.jp/>

## 青年の家はユース・プラザに生まれ変わります

東京都では、都民の皆様や青少年団体の皆様のニーズに合ったサービスを提供するために、より機能を向上させた青少年社会教育施設「ユース・プラザ」の建設を進めています。

ユース・プラザは、区部に文化・スポーツ型(夢の島総合体育館敷地内に平成16年3月31日開館に向けて建設に着手)、多摩地域に野外活動型(八王子高陵高校閉校後の跡地に平成17年4月開館予定)施設として設置

していく予定です。

なお、水元青年の家は、区部ユース・プラザの開館にあわせて廃所するため、設置条例の改正を平成15年第一回東京都議会定例会に提案する予定です。

### ●お問い合わせは・・・

東京都教育庁社会教育課 電話03-5320-6868  
又は電話03-5320-6858